



ななほ

市民の友

第709号 毎月1回発行
2010年(平成22年)

2月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人 2009(平成21)年12月末現在	
総人口	317,906 (2,270)
男	153,481 (1,162)
女	164,425 (1,108)
世帯数	134,722 (1,435)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	95,221
真和志	104,357
首 里	58,081
小 禄	57,977



今年1年の平穏と市民の安全を誓う

第61回那覇市消防出初式

今年1年の平穏と市民の安全を祈る、新春恒例の那覇市消防出初式が1月6日(水)、消防職員や消防団員、女性防火クラブなどが参加し、銘苅の消防本部庁舎で華やかに行われました。

消防出初式は、江戸時代4代將軍徳川家綱が、武士で組織された火消隊の顔見世の儀式を行ったのが始まりと言われています。

那覇市では、昭和25年の1回目から毎年行われており、今年で61回目を迎えました。

式では始めに、長年にわたり防火活動に尽力されているみなさんの活動を称え感謝状が贈られました。この後、化学物質を扱う工場で火災が発生し、逃げ遅れた人が多数いるという状況を想定しての展示訓練が行われました。

訓練では、はしご車やポンプ車、特殊工作車が現場に駆けつけ、消火にあたることも要救助者の救出を本番さながらに披露すると、見学に訪れた幼稚園児たちから「すごい! かっこいい!」と歓声が上がりました。

また、式の後半には、銘苅小学校4年生の児童から消防士への感謝のメッセージが送られたほか、「火遊びはしません。火事を出さないよう安全に遊びます」と決意が述べられました。

式の最後には、一斉放水が行われ、消防団員らが今年1年の市民の安全を祈願しました。

主な紙面

- 忘れずに特定健診を受けよう
- 那覇市のために力を発揮してみませんか
- 市税だより
- 情報PACK

協働のまちづくり つむぎ 那覇を紡ぐ

昨年、うるま市の中学校に通う男子生徒が、同級生8人によって集団暴行死するという痛ましい事件や同市の女子中学生暴行重傷事件が発生するなど、少年を巡る問題が深刻化する中、那覇市教育委員会では、「少年の居場所づくり」に関する協定書を、小禄・豊見城地区少年補導員連絡協議会、JA豊見城との間で締結しました。

これは、豊見城署管内のJA豊見城が所有する約200坪の農地を無償で借用し、不登校などの問題を抱える児童生徒に農業や畜産の体験学習を通して、働くことや農作物の収穫の喜びと、協力いただく農畜産家や支援者のみなさまへの感謝の心を育み、少年の非行防止や立ち直り支援、健全育成、将来の農畜産業の新たな担い手育成を目的としています。

地域で子どもたちの居場所づくり

市では当面、豊見城署管内の小禄・金城・鏡原中学校を中心に畜産・農業体験を予定しています。今後は、さらに星学級を始め、対象となる市内小中学校の児童生徒の体験活動に導入していくことを予定しています。



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。



協定書締結式の後は、関係団体による活発な意見交換も行われました。